

# Vault をおすすめする 主な理由

**Autodesk® Vault を使用すれば、エンジニア、設計者、  
関連チームのコラボレーションを改善し、  
製品開発を迅速化できます。**

設計データとエンジニアリング プロセスを一元管理できる Autodesk® Vault なら、作業時間を短縮し、余計なコストのかかるミス回避し、効率的に設計を変更・リリースできます。

## 01. CAD との統合

データ管理ツールの Vault は、Autodesk® Inventor® や AutoCAD® (Electrical ツールセットや Mechanical ツールセットを含む) などの設計ツールとシームレスに統合されているため、ソフトウェア間のやりとりが手間がかかるともなく、スムーズに作業を進めることができます。CAD と統合されているため、エンジニアリングから製造までのワークフロー全体を通じて設計関連データを容易に管理でき、時間の節約やデータ精度の維持につながります。

## 02. データを すばやく検索

高度でインテリジェントな検索機能で、必要なものを必要なときにすばやく検索できます。たとえばファイルを検索して再利用することで設計を最初から再作成する手間を省いたり、ジオメトリ検索で重複するパーツを特定および削除し、組織全体の生産性を向上したりできます。Vault を使用すると情報検索が大幅にスピードアップし、設計作業が効率的になります。

## 03. リビジョンを 管理、追跡

関係者全員が常にシステム上の最新情報にアクセスしながら作業できます。Vault では、過去のファイルバージョンがすべて保持されるとともに、設計の変更履歴が自動で追跡・記録されます。

## 04. データを迅速に コピー、再利用

データ管理ソフトウェアの Vault を使用すれば、既存の設計や関連ファイル、ドキュメントをコピーして、新しい設計で容易に再利用できます。置換、再利用またはコピーするファイルの設定も簡単です。複雑なモデルや図面セットを毎回一から作成する必要がなくなるため、設計時間の短縮につながります。

## 05. コンカレント設計 とコラボレーション

製品データを単一システムで一元管理することで、部門を超えた複数チーム間で効果的に連携しながら設計を同時進行できます。製品情報をメールやスプレッドシートなどで個々にやり取りすると、ファイルが上書きされてデータが失われるなどのリスクが生じますが、Vault を使用すれば、そんな手間や心配がなくなります。チームメンバーは、設計データをチェックアウトしてから変更を加え、変更後に再びチェックインして設計データをシステムに戻します。全員が連携しながら作業できるため、リソースのバランスをとりながら迅速にプロジェクトを進め、厳しい納期にも対応できます。

## 06. 簡単な管理と設定

Vault は、Vault サーバーの稼働時間を最大化するための管理ツールを備えています。管理ツールは直感的に操作でき、最小限の IT の知識があれば簡単にサーバー管理を行えます。

# Vault をおすすめする 主な理由

## 07. 標準化を促進

Vault の管理者は、カスタマイズ可能なツールを使用して標準化を行えます。データの作成やレビュー、リリースなどのプロセスについて会社独自のルールを適用したり、ISO 9000 や RoHS などの業界標準への準拠をチーム内で徹底させたりできます。

## 08. エンジニアリング 部品表 (BOM) を作成

CAD 設計データを元にエンジニアリング部品表を作成して、製品の機能設計の詳細を効果的に管理し、部門間で共有できます。

## 09. データ アクセスを コントロール

各ユーザーの役割や所属するプロジェクトに基づいて権限を設定し、データへのアクセス権限や編集権限をコントロールすることで、データ セキュリティを強化できます。

## 10. 外部関係者とコラ ボレーション

Autodesk® Product Design & Manufacturing Collection に含まれる Fusion Team を使用すれば、顧客やサプライヤーをはじめとするプロジェクトの外部関係者とクラウドベースのワークスペースを共有しつつ、安全にコラボレーションできます。アクセス権限やバージョンの管理、トレーサビリティを維持しながら、ネイティブ ファイルや設計の更新を共有できます。

## 11. リモートの 設計レビューを迅速化

Vault Professional に含まれる Web ベース ツールの Autodesk® 共有ビューを使用して、設計の視覚的表現を共有できます。レビュー担当者は Web ブラウザーで設計を表示し、拡大、計測、朱書き、マークアップ、コメントの投稿などを行えます。

## 12. ニーズに合わせて 複数サイトに拡張

Vault Professional で提供されるマルチサイト機能を使用すれば、拠点の分散したチーム間で設計データを同期し、複数の場所や地域、組織全体で設計を共有できます。

## 13. リリース/変更の プロセスを自動化

リリースと変更のプロセスを手作業で行うと、設計プロジェクトの遅延や製造現場でのミスが生じる可能性があります。Vault Professional なら、設計チームはリリースや設計の変更管理について、標準プロセスまたは設定可能なプロセスから選択できます。これはコストのかかるミスを回避し、ボトルネックを解消する上で役立ちます。

Autodesk Vault の詳細はこちらをご覧ください。

[ソリューションセンターに移動](#)